

2004年4月1日  
日本銀行松山支店

## 愛媛県金融経済概況

### 1. 概観

足許の愛媛県経済をみると、引続き、企業活動が底固さを増しつつある一方、需要は低調の域を脱していない。

すなわち、先ず企業部門をみると、原燃料市況高騰と製商品価格下落が続いているものの、生産・販売数量は増加。3月短観の業況判断をみても、製造業中心にかなりの改善。また、雇用面では、常用雇用者数が昨年5月以降9ヶ月連続で前年比プラス、労働時間および現金給与支給額も前年を上回る月が散見されるなど下げ止まりの様相。この間、2月末現在における今春新卒者の内定率を窺うと、高校卒が依然平成入り後第二位の低水準に止まっているが、大学卒は1月末現在の同第二位から第五位に若干の改善。設備投資姿勢は、依然慎重。

次に家計部門をみると、個人消費指標の中には、閏年要因等に支えられ、久方振りに前年を上回ったものもある。しかしながら、上記のとおり雇用・所得環境の悪化に歯止めが掛かりつつあるとはいえ、回復に転ずるまでには至っていないため、消費の地合いに然したる改善はみられない。また、住宅投資は、貸家の着工が増えているものの、消費同様の事情から持家は低調。

2月の金融指標は、月末休日要因により預金の前年比伸び率がやや拡大したほかは、概ね前月並みの動き。

### 2. 産業別動向

#### (1) 第一次産業

##### 農業

3月の伊予柑の出荷量は、小玉が多かった前年に比べれば若干の増加となったものの、15年産通期では、昨夏の日照不足およびその後の残暑による着色不良等から、前年を1割方下回る見通し。

##### 漁業・海面養殖業

2月の水揚量をみると、深浦漁港では、カツオが不漁の一方、サバが豊漁で、前年比増加。一方、八幡浜漁港は、前年並み。また、宇和島漁港では、ゼンゴ(アジの稚魚)を中心に前年を下回った。これら主要3漁港計の水揚量

は前年比減少、水揚額もゼンゴおよびカツオの不漁が響き前年割れ。

同月の養殖魚の出荷量は、並べて前年割れ。価格は、タイが供給過剰から低迷しているものの、ハマチおよびカンパチは、前年に比べれば幾分高めに推移。

## (2) 第二次産業

### 繊維

タオルは、全体としては引続き低操業にあるものの、一部に今治メーカーの品質の高さ、納期の短さ、少量多品種応需の姿勢に対する再評価の動きが窺われる。この間、綿糸価格は、昨年11月をピークに、その後弱含んできたものの、依然、中小メーカーの採算を圧迫。

2月の縫製品をみると、全国的に気温が高めに推移したことから、春物新柄の出足が好調。

合繊は、衣料品向けなどが低調の一方、カーシート向けは堅調。

### 紙・パルプ

2月の出荷をみると、新聞用紙がイラク関連報道の相次いだ前年を下回ったほか、家庭紙が県外メーカーの安値品に押され減少。この間、印刷用紙および板紙は、パソコン、デジタル家電関連を中心に需要が堅調ながら、円高により輸入紙の流入が増加。

### 化学・プラスチック製品

家禽飼料原料(メチオニン)、家電部品向け樹脂原料(MDI)およびナイロン繊維原料(カプロラクタム)がアジア向けを中心に、導光板もパソコン向けを中心に、高操業。アクリル繊維原料(アクリロニトリル)、人工大理石原料(水酸化アルミ)、半導体封止材(エポキシ樹脂)および導光板原料樹脂(MMA)は、需要が好調なもの、原料入手難、競合等から稼働率が低下。この間、光学機能性フィルムは、設備更新が終了。

合成樹脂加工品は、国内外他社の安値攻勢等から減産。

### 鍛工品・鋳物

新居浜・西条地区の中小鉄工および丹原地区の中小鋳物は、自動車および公共工事関連需要が減少しているものの、中国向け建設機械部品の出荷が増加しており、全体では前年を上回る生産。

### 非鉄金属

電気銅、電気ニッケルともフル操業継続。

#### 一般機械

クレーン、プレス機、半導体製造装置等は、国内高炉・電炉、造船、自動車および IT 関連業界の設備投資回復の動きを反映し、受注好調。また、排熱利用型ボイラーがコスト削減要請の強い企業向けに、水処理装置が健康志向の家庭向けに、それぞれ売上を伸ばしている。

農業機械は、米国向けガーデントラクターが堅調に推移しているほか、昨年末発売の国内向けコンバインおよび 4 月発売予定の欧州向けトラクターの新機種生産から、前年を上回る生産。

#### 電気機械

半導体は、国内向け自動車用ならびに海外向けデジタルカメラおよびカメラ付携帯電話用の好調から高操業ながら、国内携帯電話用は納入先メーカーのシェア低下から伸悩み。

ディスプレイ用バックライトは、パソコン向けを中心にフル操業を続けているが、自動車用電球は、外需が米国ビッグ 3 向けの減少から、内需が発光ダイオードへの需要シフトから、前年割れ。

#### 輸送機械

内航船専業の先は低操業。

外航船主体の先では、高水準の受注残を抱える主力の大型船がフル操業。

#### 建設・土木

2 月の新設住宅着工戸数は、貸家の大幅な増加から、前年比+11.5%。

同月の公共工事請負額は、大型工事(日本下水道事業団の宇和浄化センター建設工事)がみられたものの、市町村および国の減少から、全体では前年比 10.4%。

### (3) 第三次産業

#### 海運

内航海運では、鋼材半製品、自動車、石油製品輸送等が堅調。

外航海運では、中国向け鉄鉱石、家禽飼料等に加え、欧州向け穀物の荷動きが活発の一方、中国、豪州および南米における荷役施設のボトルネックが解消しないことから、傭船料が高止まり。

#### 小売

2 月の百貨店および量販店売上は、一部店舗の期末販促および閏年要因に支えられ、久方振りに前年を上回った。耐久消費財販売は、DVD、薄型テレビ、新型車等を除き不芳。

## 観光

道後温泉宿泊者数は、一進一退。「松山春まつり」の入込みは、前年並み。主要観光施設の入場者数をみると、築城 400 年祭の今治市およびイベント効果のみられたしまなみ海道沿線の一部施設以外では、依然前年割れ。

この間、旅行代理店における 2 月の県内客取扱額は、先月に続き前年割れ。

なお、松山空港乗降客数は、札幌便の運航再開にも拘わらず、昨年 12 月以降 3 ヶ月連続で前年を下回った。

## 3. 金融動向

### (1) 銀行券

2 月の銀行券は、68 億円の発行超(前年は、254 億円の発行超)。

### (2) 預金・貸出金

2 月は、実質預金が、月末休日に伴う法人預金における決済資金の高止まりから前年比伸び率を拡大。一方、貸出金の前年比伸び率、貸出約定平均金利は、ほぼ前月並み。

以上

# 愛媛県、四国および全国の主要金融経済指標の推移

年度・期・月	個人消費関連								
	百貨店売上高(既存店) 前年比、%			スーパー売上高(既存店) 前年比、%			乗用新車登録台数 前年比、%		
	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国
2000	-6.4	-5.3	-2.7	-4.5	-3.9	-6.2	-0.2	2.1	2.6
2001	-3.3	-2.0	-0.3	-3.8	-6.1	-4.8	-2.3	-3.1	0.9
2002	1.8	0.4	-2.3	-2.3	-1.1	-1.7	3.6	2.3	7.0
2003/ 1- 3	-0.3	-1.1	-2.0	-1.7	-0.9	-1.9	6.5	4.6	10.4
4- 6	-3.8	-2.6	-3.3	-4.1	-3.0	-3.5	-4.6	-7.1	-1.3
7- 9	-3.2	-2.2	-2.9	-5.3	-3.8	-5.2	-9.2	-8.5	-1.3
10-12	-3.6	-2.4	-2.3	-4.2	-3.2	-4.0	-8.0	-9.9	-4.9
2003/ 9	-2.5	-4.4	-5.2	-5.2	-3.5	-5.7	-6.1	-4.4	0.6
10	-1.0	-0.1	0.6	-3.2	-1.3	0.1	-3.7	-5.1	-2.1
11	-6.5	-4.3	-4.1	-6.1	-5.1	-6.7	-13.5	-11.6	-8.5
12	-3.3	-2.6	-3.0	-3.5	-3.3	-4.9	-6.0	-12.5	-3.9
2004/ 1	-0.1	0.7	-0.1	-3.7	-2.6	-3.3	-1.2	-0.6	1.0
2	1.5	2.5	2.3	-0.3	0.7	-0.9	-4.8	-4.7	-3.9
出所	百貨店協会、経済産業省			四国経済産業局、経済産業省			自販連		

年度・期・月	新設住宅着工戸数 前年比、%			公共工事請負額 前年比、%		
	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国
2000	-1.5	-3.1	-1.1	-20.4	-16.3	-12.9
2001	-6.8	-6.5	-3.3	-1.7	-7.0	-7.8
2002	-0.1	-1.6	-2.4	-5.2	-8.4	-7.2
2003/ 1- 3	-1.7	-5.6	-2.1	-17.8	-20.3	-12.6
4- 6	29.6	12.9	2.2	-5.3	-21.7	-13.0
7- 9	3.9	-1.3	-0.6	-6.3	-3.3	-7.3
10-12	2.7	-11.1	3.2	-12.6	-18.7	-16.9
2003/ 9	21.0	12.3	1.2	24.7	20.3	-6.9
10	7.7	-8.8	1.0	-7.1	-11.7	-14.4
11	-8.0	-16.8	-0.3	-34.9	-31.0	-23.0
12	8.4	-7.9	9.4	6.8	-14.4	-14.1
2004/ 1	-5.5	-4.0	7.3	18.2	-1.1	-16.6
2	11.5	6.5	1.9	-10.4	-11.0	-10.5
出所	愛媛県、国土交通省			西日本建設業保証(株)		

年度・期・月	鉱工業生産指数 季調済前月(期)比、( )内原計数前年比、%			有効求人倍率 季調済、倍		
	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国
2000	( -1.8)	( 1.8)	( 4.3)	0.67	0.67	0.62
2001	( -1.9)	( -5.0)	( -9.1)	0.65	0.63	0.56
2002	( -0.2)	( 0.4)	( 2.8)	0.63	0.62	0.56
2003/ 1- 3	4.1 ( 5.7)	2.5 ( 0.7)	0.3 ( 5.5)	0.62	0.64	0.60
4- 6	2.2 ( 5.0)	-0.8 ( -0.8)	-0.7 ( 2.2)	0.61	0.63	0.61
7- 9	-1.3 ( 2.8)	3.9 ( 1.8)	1.3 ( 0.9)	0.64	0.66	0.64
10-12	2.1 ( 7.1)	2.2 ( 7.5)	3.7 ( 4.1)	0.71	0.74	0.73
2003/ 9	5.0 ( 10.5)	-0.7 ( 4.0)	3.8 ( 4.1)	0.66	0.68	0.67
10	-1.9 ( 8.5)	1.0 ( 6.2)	1.0 ( 3.8)	0.69	0.72	0.70
11	-2.6 ( 8.3)	4.0 ( 8.8)	1.0 ( 2.6)	0.70	0.74	0.73
12	r 0.0 ( 4.7)	r -4.6 ( 7.4)	-0.8 ( 5.9)	0.73	0.76	0.77
2004/ 1	p 7.4 ( 5.9)	p 4.1 ( 5.6)	r 3.3 ( 4.9)	0.75	0.77	0.77
2			p -3.7 ( 6.9)	0.74		0.77
出所	愛媛県、四国経済産業局、経済産業省			愛媛労働局、厚生労働省		

年度・期・月	銀行券発行高 前年比、%			実質預金(月末残高) 前年比、%		
	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国
2000	-6.9	-7.1	-9.3	4.4	3.5	1.0
2001	3.4	-2.1	5.1	3.7	3.2	5.5
2002	-10.3	-11.9	-9.0	-1.0	-1.4	1.4
2003/ 1- 3	-9.3	-15.6	-17.9	-1.0	-1.4	1.4
4- 6	-8.1	-6.8	-9.3	0.2	-0.7	1.7
7- 9	-13.3	-13.8	-9.6	0.5	-0.1	2.4
10-12	-4.3	-11.3	-11.1	0.3	-0.6	2.0
2003/ 9	-10.2	-9.8	-10.0	0.5	-0.1	2.4
10	8.6	-17.5	-5.0	0.2	-0.5	1.9
11	0.2	-6.6	-13.6	0.4	-0.3	1.7
12	-11.8	-10.0	-13.1	0.3	-0.6	2.0
2004/ 1	-6.4	-6.6	-13.4	0.6	0.0	1.8
2	-32.2	-17.3	-16.1	1.3	0.3	1.5
出所	日本銀行			日本銀行		

年度・期・月	貸出金(月末残高) 前年比、%			貸出約定平均金利 月中変化幅、%ポイント		
	愛媛	四国	全国	愛媛	四国	全国
2000	0.7	-0.8	-1.4	-0.058	-0.040	-0.010
2001	1.4	-0.5	-3.6	-0.110	-0.150	-0.166
2002	-0.2	-2.9	-3.9	-0.117	-0.068	-0.055
2003/ 1- 3	-0.2	-2.9	-3.9	-0.013	0.003	-0.017
4- 6	0.5	-2.2	-4.5	0.003	0.009	0.007
7- 9	0.8	-1.2	-2.9	0.001	-0.023	-0.023
10-12	0.9	-1.1	-4.1	-0.015	-0.041	-0.001
2003/ 9	0.8	-1.2	-2.9	-0.003	-0.013	-0.017
10	0.6	-1.4	-4.1	0.007	-0.014	0.003
11	0.9	-1.1	-4.0	-0.012	0.004	0.004
12	0.9	-1.1	-4.1	-0.010	-0.031	-0.008
2004/ 1	1.5	-0.6	-3.9	0.006	-0.006	-0.005
2	1.7	-0.3	-3.5	-0.001		-0.008
出所	日本銀行			日本銀行、四国財務局		

(注)・実質預金・貸出金 愛媛.....銀行、信金および信組(オフショア勘定を除く)  
 四国.....全国銀行、信託銀行子会社および外銀信託(オフショア勘定を除く)  
 全国.....全国銀行、信託銀行子会社および外銀信託(オフショア勘定を含む)

・貸出約定平均金利 愛媛.....地元6行庫平均(県内店舗分)  
 四国.....地元地銀平均  
 全国.....地銀平均

# 県内金融関連指標

2004年2月

## 1. 銀行券(当店勘定) (単位 億円、%)

	月中	前年	前年比	年度初来	
				前年	前年比
発行	419	618	-32.2	5,796	-10.2
還収	351	364	-3.6	5,081	-8.4
発行・還収(-)超	68	254	...	714	前年 906

## 2. 金融機関預金・貸出 (単位 億円、%)

	月末残高	前年比	月中増減(-)	
			前年	前年
実質預金	58,197	1.3	125	-283
貸出	42,841	1.7	136	55

(注) 銀行、信金および信組

## 3. 貸出約定平均金利 (単位 %、%ポイント)

	月末水準	月中変化幅
県内店舗	2.371	-0.001
全店	2.180	-0.001
短期	2.150	0.004
長期	2.211	-0.005
当貸	2.057	0.010

(注) 地元6行庫平均